

医師確保計画改定に向けた医療機関等への調査

対象（臨床研修医）

（はじめに）

- ・都の医師確保計画改定及び今後の医療施策検討に活用する基礎資料とすることを目的とし、以下のとおり調査を実施いたします。
- ・本調査の回答は、個人が特定されない形で会議資料等により公表することがありますので、御了承ください。
- ・都から医師奨学金の貸与を受けている方は、本調査は対象外です。（別途「医師奨学金被貸与者」のみを対象とした調査を行いますので、そちらの調査回答につき、御協力をよろしくお願いいたします。）なお、都以外の自治体や民間団体から奨学金の貸与を受けている方は、本調査の対象です。

※都の医師奨学金について⇒[特別貸与奨学金|東京都地域医療医師奨学金制度|東京都保健医療局](#)

性別

- ・男
- ・女
- ・答えたくない

Q1：年齢

●才

Q2：勤務先病院(任意)

Q3：年次

- ア 臨床研修1年目
- イ 臨床研修2年目

Q4：専門とする診療科を決めていますか。

- ア 決めている
- イ 決めていない

Q5：Q4で「決めている」と回答した方にお聞きします。専門研修で希望する診療科を教えてください。

- ア 内科

- イ 小児科
- ウ 皮膚科
- エ 精神科
- オ 外科
- カ 整形外科
- キ 産婦人科
- ク 眼科
- ケ 耳鼻咽喉科
- コ 泌尿器科
- サ 脳神経外科
- シ 放射線科
- ス 麻酔科
- セ 病理
- ソ 臨床検査
- タ 救急科
- チ 形成外科
- ツ リハビリテーション科
- テ 総合診療科

Q6：Q4で「決めている」と回答した方にお聞きします。1－2で回答した診療科を選

択した理由を教えてください。(複数選択可)

- ア やりがいを感じるから
- イ 適正・才能があるから
- ウ 当直の回数が少ないから
- エ 急な呼び出しが少ないから
- オ ライフワークバランスが確保できるから
- カ 医局の雰囲気が良いから
- キ 専門医の資格が取得しやすいから
- ク 将来にわたって専門性を維持しやすいから
- ケ 希望した病院に入職しやすいから
- コ 希望した地域で入職しやすいから
- サ 開業しやすいから
- シ 将来の需要予測、将来性
- ス 収入が多い(バイト・副業のやりやすさ含む)
- セ 医療行為によるリスク負担(医療訴訟等)が少ないと感じるから
- ソ 親族が開業している診療科と関連があるから

- タ 地域医療(地元)に貢献したいから
- チ 先輩や教授に勧められたから
- ツ 地域枠等奨学金返還免除要件として指定された診療科だから
- テ その他(具体的に御記入ください)

Q7：Q4で「決めている」と回答した方にお聞きします。診療科を決定した時期はいつですか。

- ア 臨床研修2年目
- イ 臨床研修1年目
- ウ 在学中(臨床研修開始前まで)
- エ 入学前
- オ その他(具体的に御記入ください)

Q8：Q7で「臨床研修2年目」「臨床研修1年目」と回答した方にお聞きします。臨床研修前で希望していた診療科から変更になりましたか。

- ア はい
- イ いいえ

Q9：Q8で「はい」と回答した方にお聞きします。臨床研修前に最も希望していた診療科を教えてください (1つのみ選択)

- ア 内科
- イ 小児科
- ウ 皮膚科
- エ 精神科
- オ 外科
- カ 整形外科
- キ 産婦人科
- ク 眼科

- ケ 耳鼻咽喉科
- コ 泌尿器科
- サ 脳神経外科
- シ 放射線科
- ス 麻酔科
- セ 病理
- ソ 臨床検査
- タ 救急科
- チ 形成外科
- ツ リハビリテーション科
- テ 総合診療科

Q10：Q8で「はい」と回答した方にお聞きします。変更になった理由を教えてください。(複数選択可)

- ア 臨床研修を行ってみて、他の診療科にやりがいを感じたから
- イ 臨床研修を行ってみて、適性や才能がないと感じたから
- ウ 臨床研修を行ってみて、医局の雰囲気が自身に合わないと感じたから
- エ 臨床研修を行ってみて、勤務形態が自身に合わないと感じたから
- オ 臨床研修を行ってみて、ライフワークバランスを確保できないと感じたから
- カ 他の診療科の方が将来性があると感じたから
- キ その他(具体的に御記入ください)

Q11：Q4で「決めていない」と回答した方にお聞きします。いつ頃決める予定ですか。

- ア 臨床研修1年目
- イ 臨床研修2年目
- ウ その他(具体的に御記入ください)

Q12：Q4で「決めていない」と回答した方にお聞きします。専門とする診療科を選択

する際重視することは何ですか。(複数選択可)

- ア やりがいを感じるか
- イ 適正・才能があるか
- ウ 当直の回数が少ないか
- エ 急な呼び出しが少ないか
- オ ライフワークバランスが確保できるか
- カ 医局の雰囲気が良いか
- キ 専門医の資格が取得しやすいか
- ク 将来にわたって専門性を維持しやすいか
- ケ 希望した病院に入職しやすいか
- コ 希望した地域で入職しやすいか
- サ 開業しやすいか
- シ 将来の需要予測、将来性
- ス 収入が多いか(バイト・副業のやりやすさ含む)
- セ 医療行為によるリスク負担(医療訴訟等)が少ないと感じるから
- ソ 親族が開業している診療科と関連があるか
- タ 地域医療(地元)に貢献できるか
- チ 先輩や教授が勧めるか
- ツ 地域枠等奨学金返還免除要件として指定された診療科か否か
- テ その他(具体的に御記入ください)

--

全員にお聞きします。現在都では、産婦人科、救急科、小児科の医師確保対策に取り組んでいます。また、外科、総合診療科は全国で専門研修のシーリング対象外(病理・検査を除く)となっています。これらの診療科を選択するには、どのような支援や環境整備が必要だと思いますか。**診療科別**にお答えください。

Q13 産婦人科

- ア 勤務内容に見合った収入
- イ キャリア形成支援・資格取得支援
- ウ 研究発表機会の創出
- エ 医療ロボット・AI等の普及支援

- オ リモート診療の普及支援
- カ 勤務先病院でのライフワークバランスの確保
- キ 開業支援
- ク 医療機関とのマッチング支援
- ケ その他（具体的に御記入ください）

--

Q14 救急科

- ア 勤務内容に見合った収入
- イ キャリア形成支援・資格取得支援
- ウ 研究発表機会の創出
- エ 医療ロボット・A I 等の普及支援
- オ リモート診療の普及支援
- カ 勤務先病院でのライフワークバランスの確保
- キ 開業支援
- ク 医療機関とのマッチング支援
- ケ その他（具体的に御記入ください）

--

Q15 小児科

- ア 勤務内容に見合った収入
- イ キャリア形成支援・資格取得支援
- ウ 研究発表機会の創出
- エ 医療ロボット・A I 等の普及支援
- オ リモート診療の普及支援
- カ 勤務先病院でのライフワークバランスの確保
- キ 開業支援
- ク 医療機関とのマッチング支援
- ケ その他（具体的に御記入ください）

--

--

Q16 外科

- ア 勤務内容に見合った収入
- イ キャリア形成支援・資格取得支援
- ウ 研究発表機会の創出
- エ 医療ロボット・A I 等の普及支援
- オ リモート診療の普及支援
- カ 勤務先病院でのライフワークバランスの確保
- キ 開業支援
- ク 医療機関とのマッチング支援
- ケ その他（具体的に御記入ください）

--

Q17 総合診療科

- ア 勤務内容に見合った収入
- イ キャリア形成支援・資格取得支援
- ウ 研究発表機会の創出
- エ 医療ロボット・A I 等の普及支援
- オ リモート診療の普及支援
- カ 勤務先病院でのライフワークバランスの確保
- キ 開業支援
- ク 医療機関とのマッチング支援
- ケ その他（具体的に御記入ください）

--

地域医療支援ドクターについてお聞きます。

Q18：地域医療支援ドクターについて知っていますか。

※地域医療支援ドクターとは⇒[東京都地域医療支援ドクター事業](#)|[その他の医療対策](#)|[東京都保健医療局](#)

- ア よく知っている
- イ 少し知っている
- ウ ほとんど知らない
- エ 知らない

Q19：Q18で「よく知っている」「少し知っている」と回答した方にお聞きします。地域医療支援ドクターを何で知りましたか。

- ア 広報東京都を見て
- イ 月刊福祉保健を見て
- ウ 東京都のホームページを見て
- エ 都立病院機構医師アカデミーからの紹介
- オ 保健医療局 X（旧 Twitter）を見て
- カ 地域医療支援ドクターからの紹介
- キ 地域枠医師から聞いて
- ク その他

Q20：全員にお聞きします。地域医療支援ドクターへの応募者を増やすためには、どのような周知が効果的だと思いますか。

Q21：全員にお聞きします。普段御自身でよく閲覧するものや活用するものを教えてください。（複数回答可）

- ア X（旧 Twitter）
- イ Instagram
- ウ tiktok
- エ YouTube

オ 広報東京都
カ 月刊福祉保健
キ 東京都のホームページ
ク 都立病院機構医師アカデミーHP 等
ケ m3.com
コ HOKUTO
サ ヒポクラ
シ MedPeer（メドピア）
ス レジナビ
セ その他

--

質問は以上です。

御協力ありがとうございました。